

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾に参加して

泗水中学校2年 宮本 夏妃さん



私は夏休み期間中に「プラチナ未来人財育成塾」に参加してきました。これは、未来のリーダーを育成し、講義やグループワークを通じて「プラチナ社会」と将来の自分との関わりについて考える場です。毎日が発見で、充実した濃い五日間を過ごすことができました。

ここでは、十四人の先生方のお話を聞くことができました。私が特に心に残った講義は三つあります。

一つ目は、日本ラグビー協会コーチングディレクター、中竹竜二先生の「成功と成長の違い」についての話でした。成功と成長は似て非なるもので、成功は「目標の達成」、成長は「意識の変化」だということが分かりました。講話の中に出てきた「失敗をして強くなる、たくさん失敗してもいい」という言葉がとてもし心にしみました。「失敗はしてはいけないもの」という私の考えがガラリと変わりました。また「失敗を認めず、リスクをとらない安全な場所に身を置く人が失敗する人だ」と先生はおっしゃっていました。リスクをとらない安全な場所に身を置くという事は、挑戦をせずその場所にとどまってしまう人だと思えます。私はこの話を聞いて、何か小さいことでもいいから新しいことに挑

戦したいと思いました。

二つ目は、朝日新聞編集委員の原真人先生の講話です。ジャーナリストは好かれることのない、常に批判をしなければならぬ大変な仕事だと分かりました。原先生は取材をしている時、命を狙われたことがあるそうです。普段私たちが見ているニュースは、記者の方たちが命がけでとったニュースなのです。その後のグループワークで、ジャーナリストは「国の番人」という言葉が出てきました。ジャーナリストへのイメージが変わったという意見もありました。私は講話から、視野を広げることの大切さを学びました。生徒会役員として学校全体を見ているつもりでも、どこか見落としている部分があると思いますので、視野を広げ、何か見落としていないか、チェックを行っていききたいと思います。

三つ目は、講義の後にあるグループワークです。同じ先生の講義を聞いても、様々な意見があり、見る角度を変えると新しい発見をすることができました。一方、班の意見をまとめるときに困ってしまうときがありました。でもそんな時は、チューターさんとシニアの方の力を借りて楽しく進めることができました。相手を認め、受け入れることの大切さ

もグループワークから学びました。今の自分を見つめ直すきっかけにもなり、長所も知ることができました。講話だけではなく、ここでの生活でもたくさん学ぶことができました。活動班では、みんな知らない人ばかりでしたが、自分から積極的に行動するよう心がけました。好きなものの話をしたり、意見交換しているうちに仲良くなることができ、県の垣根を越えてたくさんの友達をつくることができました。

住んでいる環境が違うので「私の普通が全く普通じゃなかったりして、世界は広いなあ」と思いました。ここに来る前は、何もかもが不安で、友達を作れるかが一番心配でした。けれど、北海道や東京、愛知、福岡など本場にたくさんの人と友達になることができました。人見知りもちよっとは克服できたと思います。お別れする時は泣いてしまうほどでした。熊本の人も仲良くなれて、一生忘れない思い出をつくることができました。

こうした機会を与えてくださった市の方々や先生方、家族に感謝します。ここで学んだことをもとに、さらに考えを深め、周りから頼りにされるリーダーを目指して頑張ります。

※作文は一部抜粋

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

「失敗を成功に変えるために！」

泗水中学校2年 岩田 善さん



今回のプラチナ未来人財育成塾に参加することに僕は前向きではありませんでした。でも今は、自分があの場所まで頑張っていたことを誇りに思えます。

初日は誰の講義もなく、移動と自由時間だけでした。正直に言うとう、僕はとても帰りがたかったです。楽しそうにもないし、他の人達とは気が合いそうにもないし、と、そんなことばかり考えていました。バスに乗っても、男子だけ会話がなくて、飛行機の中でも、他の人達はすぐに寝てしまい、最初はつらかったりもしました。でも、自由時間にいざ男子だけとなると、自然と会話が続き、笑顔も増えました。わずか一日で、県内の人達と仲良くなる事ができて、うれしかったです。

二日目から先生方の講義が始まりました。この日、一番心に残ったのは菊池先生の言葉です。一人一つ目標を書くことになり、先生は「世界征服」と書いていました。最初は正直、ん？と思うところもありましたが、先生はこう言いました。「自分の得意なこと、世界中に名前を轟かせる」と。それを聞いてとても力づくイイと思いました。スポーツが得意ならスポーツで、勉強が得意なら勉強で、自分の名前を世界に轟かせ

る！という意味があったからです。それから二日目にもう一つ、良い思い出ができました。それは友達が増えたことです。その日まで、熊本の三人で行動していたけれど、五人に増えました。それだけでとても心強く、とてもとてもうれしかったです。

改めて僕は、今回、プラチナ未来人財育成塾に参加して感じたことが二つあります。まず一つ目は、リーダー性についてです。浜松市長の鈴木康友さんの話の最初に、一つの動画を見せてもらいました。その動画は、一人の外国人がたった一人で踊りだすというものでした。周囲の人は、（何やってるの？）といったかんじで、何でこの動画を見るんだろうと思っていました。でも後から、踊る人が一人、また一人と増え、最後には、近くにいた人ほとんどが踊り始めるという動画でした。動画を見終わった後、鈴木さんは「一人が行動し、リーダーとなればフォロワーがやってくる。そのフォロワーを大事にすることが大事」とおっしゃっていました。それを聞いて一番感じたのは「自分が行動を始める人になろう」という事でした。誰かがフォロワーになってくれると信じ続け、誰かがフォロワーになってくれたら大切にしたいと思えます。

そして二つ目は、とにかく友達を大切にすることです。このプラチナ未来人財育成塾で最初に仲良くなった人が「一度会ったら、皆家族！」と、六日間ずっと言っていました。笑いながら楽しく言っていました。よくよく考えるとすごく良い言葉だなあと今は思えます。今回のプラチナ未来人財育成塾に参加した人は85人と聞きました。住んでいる場所が遠くても、一度でもしゃべって、一緒に笑い合ったのなら、それは一生忘れる事のない、思い出の一人なんだと僕は思います。それから、最後の集合写真をとるときも皆で笑い、盛り上がる事ができました。仲良くなることのできた人達とは、一生、忘れないでいたいのです。

僕は、プラチナ未来人財育成塾に参加できて本当によかったと思います。新たな知識を吸収することができ、何より日本中の中学生と仲良くなる事ができました。こんなに素晴らしい経験は、おそらく一生できないと思います。プラチナ未来人財育成塾によって仲良くなることのできた85人の人達を忘れずに、お世話になった係員、市役所、そしてチューターの方々に感謝をしたいと思えました。本当に良い思い出になりました。

※作文は一部抜粋